【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【公開番号】特開2018-76290(P2018-76290A)
【公開日】平成30年5月17日(2018.5.17)
【年通号数】公開・登録公報2018-018
【出願番号】特願2017-201576(P2017-201576)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/519　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 7/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 7/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5575　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/519
Ａ６１Ｐ　 9/12
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　 9/08
Ａ６１Ｐ　 3/14
Ａ６１Ｐ　 7/02
Ａ６１Ｐ　 7/10
Ａ６１Ｋ　31/5575

【手続補正書】
【提出日】令和1年11月26日(2019.11.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＰＡＨを治療するために用いられる、有効量の６－アセチル－８－シクロペンチル－５－メチル－２－｛［５－（ピペラジン－１－イル）ピリジン－２イル］アミノ｝ピリド［２，３－ｄ］ピリミジン－７（８Ｈ）－オン、またはその薬学的に許容できる塩を含む医薬組成物。
【請求項２】
６－アセチル－８－シクロペンチル－５－メチル－２－｛［５－（ピペラジン－１－イル）ピリジン－２イル］アミノ｝ピリド［２，３－ｄ］ピリミジン－７（８Ｈ）－オン、

またはその薬学的に許容できる塩が、単回でまたは２４時間内での複数回投与で、１日当たり約０．６から約５００ｍｇの投与量で投与される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
６－アセチル－８－シクロペンチル－５－メチル－２－｛［５－（ピペラジン－１－イル）ピリジン－２イル］アミノ｝ピリド［２，３－ｄ］ピリミジン－７（８Ｈ）－オン、またはその薬学的に許容できる塩が、単回でまたは２４時間内での複数回投与で、１日当たり約２５ｍｇから１２５ｍｇの投与量で投与される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項４】
１つまたは複数の他の活性物質と組み合わせて用いられる、請求項１から３のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項５】
６－アセチル－８－シクロペンチル－５－メチル－２－｛［５－（ピペラジン－１－イル）ピリジン－２イル］アミノ｝ピリド［２，３－ｄ］ピリミジン－７（８Ｈ）－オンを含む、請求項１から４のいずれか一項に記載の医薬組成物。
【請求項６】
他の活性物質がシルデナフィルである、請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項７】
ＰＣＨ、左心疾患に起因する肺高血圧、肺疾患または低酸素症に起因する肺高血圧、慢性的血栓塞栓性肺高血圧、病因が不明または多因子性の肺高血圧、突発型の肺血管疾患または肺障害、および原発性の肺血管障害から選択される疾患を治療するために用いられる、有効量の６－アセチル－８－シクロペンチル－５－メチル－２－｛［５－（ピペラジン－１－イル）ピリジン－２イル］アミノ｝ピリド［２，３－ｄ］ピリミジン－７（８Ｈ）－オン、またはその薬学的に許容できる塩を含む医薬組成物。
【請求項８】
疾患がＰＣＨである、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項９】
疾患が、左心疾患に起因する肺高血圧である、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
疾患が、肺疾患または低酸素症に起因する肺高血圧である、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
疾患が慢性的血栓塞栓性肺高血圧である、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
疾患が、病因が不明または多因子性の肺高血圧である、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
疾患が、突発型の肺血管疾患または肺障害である、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
肺血管疾患または肺障害が、急性的、慢性的な肺の損傷および炎症の任意の形態を含む、請求項１３に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
疾患が原発性の肺血管障害である、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
原発性の肺血管障害が、特発性の、膠原血管関連の、肝臓病関連の、薬剤関連の、ＨＩＶ関連の、および凝血塊誘発型の肺高血圧である、請求項１５に記載の医薬組成物。
【請求項１７】
有効量のＣＤＫ阻害剤を含む、ＰＡＨを治療するために用いられる医薬組成物。
【請求項１８】
ＣＤＫ阻害剤が、リボシクリブ、アベマシクリブもしくはジナシクリブ、またはそれらの薬学的に許容できる塩である、請求項１７に記載の医薬組成物。
【請求項１９】

ＣＤＫ阻害剤が、ＣＤＫ４およびＣＤＫ６の阻害剤である、請求項１７に記載の医薬組成物。

【請求項２０】

他の活性物質が、プロスタグランジン、エンドセリン受容体アンタゴニスト、グアニル酸シクラーゼ阻害剤、血管拡張物質、カルシウムチャネル遮断物質、抗凝固剤、および利尿剤である、請求項４に記載の医薬組成物。